

里山環境の保全・活用と住民参加による公園整備の取り組みについて

独立行政法人都市再生機構 首都圏ニュータウン本部

事業第一部 緑環境整備チーム

小西岳彦 折原夏志

キーワード

①緑のネットワーク | ②里山環境 | ③住民参加

独立行政法人都市再生機構は、千葉県市原市において「市原市都市計画事業潤井戸特定土地区画整理事業」（以下「当事業」）を施行し、当事業区域内において、自然地では既存地形・斜面林・湧水を活かした保全・活用型公園、造成地では広場や遊具を整備した施設型公園とするなど、立地条件に合わせた「地域の原風景・環境資産の継承」、「新しいまちの景観創造」、「公園緑地機能の充実」を方針として公園緑地を整備した。

本稿では、その中で最大規模の面積を有する保全・活用型の近隣公園である「うるいど自然公園」の計画・整備段階において行った里山景観の保全と、整備と並行して企画・立案した地域活性化に向けた取り組み・技術を述べる。